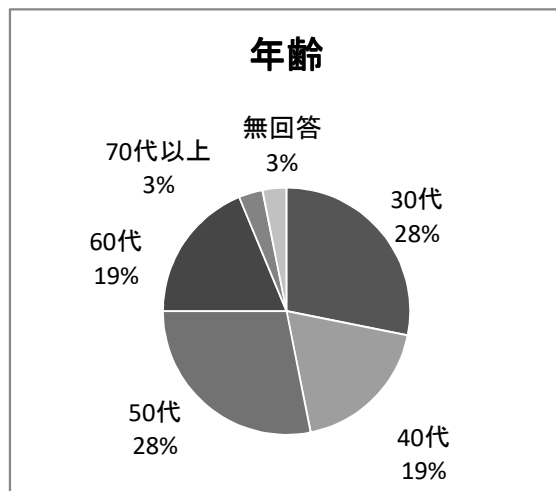


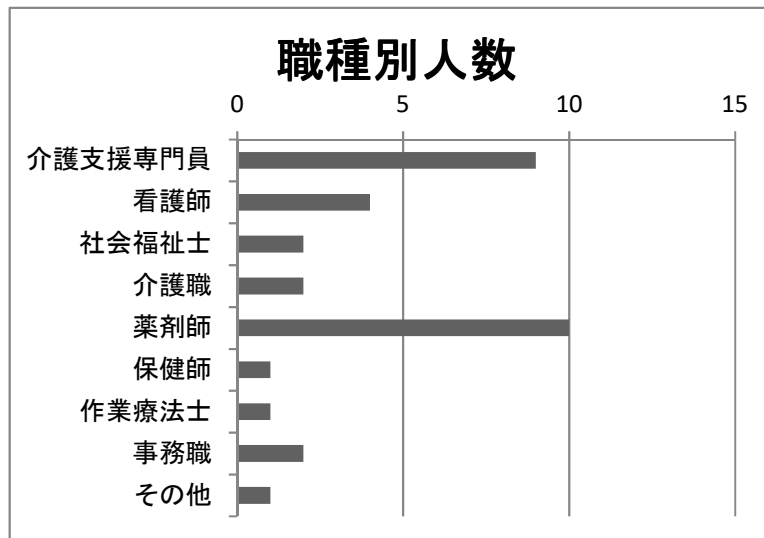
令和2年度第1回土浦市在宅医療介護連携多職種連携研修会(つちうLabo) 令和2年8月25日(火)

当日アンケート結果 回答 32名/36名出席 (回答率89%)

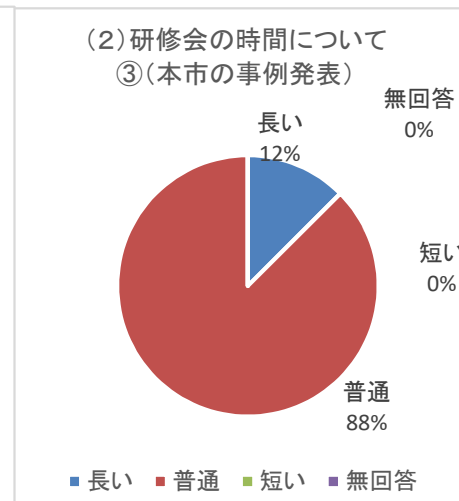
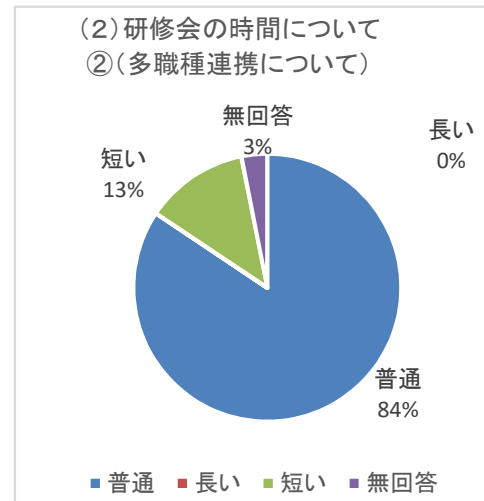
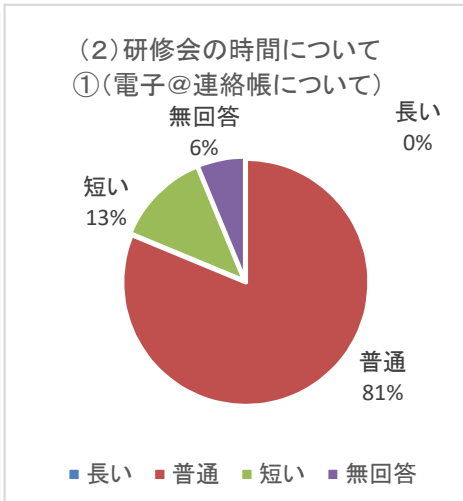
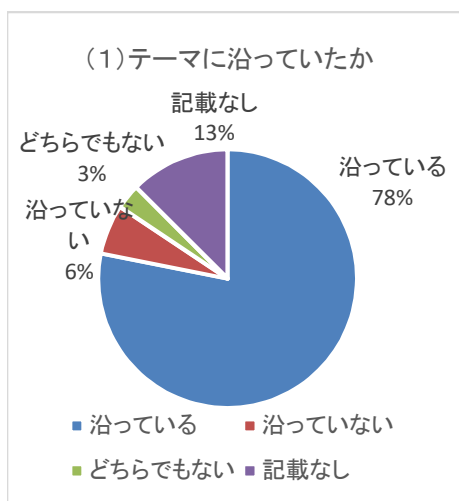
1参加者-(1) 年齢



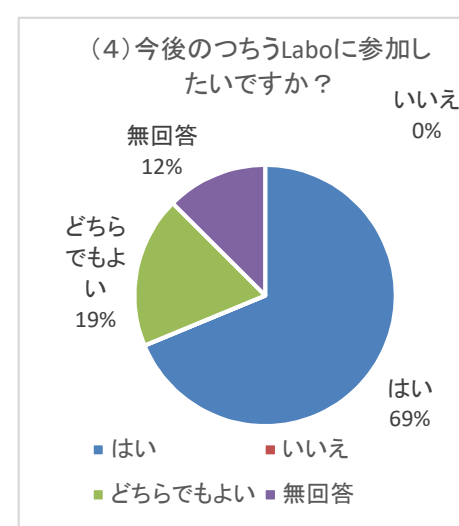
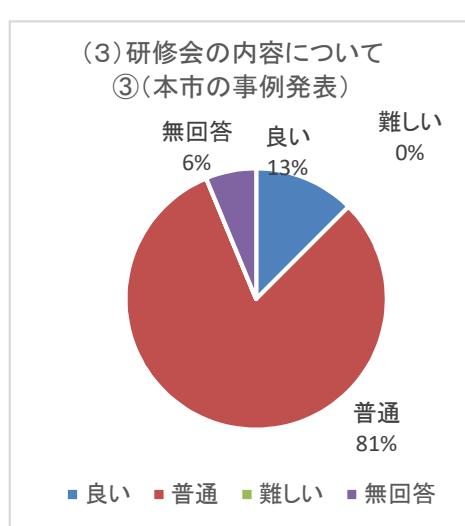
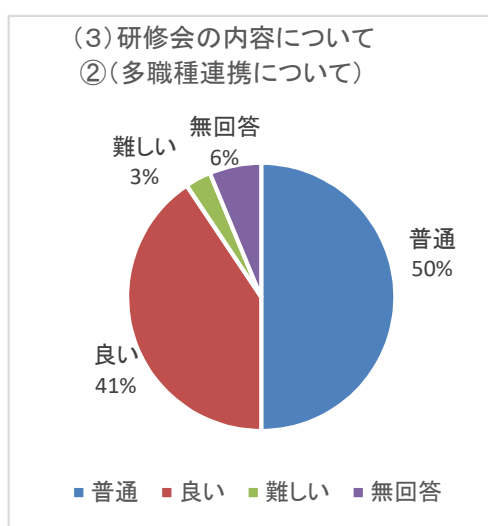
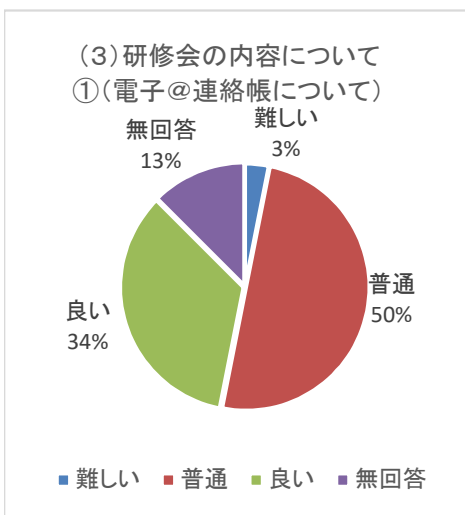
1-(2) 職種



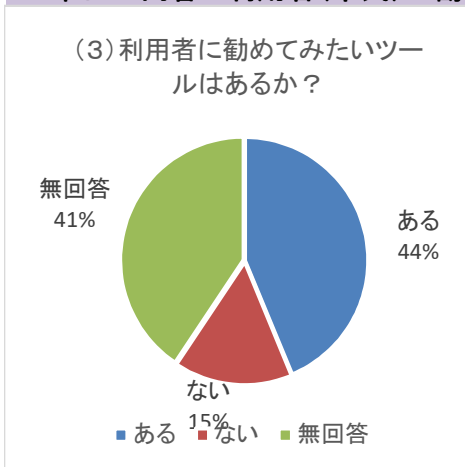
2 本日の研修会について -(1)テーマに沿った研修形式だったか? -(2)講話の時間について①②③, 講話の内容について①②③



2 本日の研修会について - (3)講話の内容について①②③



3 本日の内容で利用者(市民)に勧めてみたいと思った内容・ツールはありますか？



「ある」と回答した者14人の自由記述

- ・電子@連絡帳・・・7人
- ・在宅ケア連携手帳・・・4人
- ・記載なし・・・3人

4 円滑な多職種連携のためには、どのような情報や機会が必要・役立つと考えますか？

- ・連携担当者の連絡先・・・2名
- ・ケア会議等の参加可能な時間帯
- ・特記事項(得意分野・対応可能な病態)
- ・定期的に顔を合わせる場・・・5名
- ・状態(特に皮膚状態)変化の把握
- ・事例が分類されていて、誰でも自由に見たり、質問できるサイト。
- ・どこに何を必要する方がおられるか

5 今後、どのようなテーマで意見交換会を行ってみたいですか？

- ・在宅診療について。求められている訪問診療。
- ・残薬をなくすための工夫
- ・受診の方法として、現在、利用者の方を病院に連れて行くのが困難なことが多々あります。タクシー利用は費用がかかります。介護タクシーも同様です。もっとサービスが多くあればよいのですが。
- ・認知症やがんケアについて

自由記載

- ・事例の紹介がとても参考になった。今後もいろいろなテーマで事例を見てみたい。
- ・電子@連絡帳、ぜひ使ってみたいと思いました。今回の研修でとてもよくわかりました。タイムリーな情報共有素晴らしいです！
- ・電子@連絡帳は、医師・看護師さんにピッタリのツールだと思う。多職種使用は、今後の課題。リモート会議もうまくいかず今後の課私たちもすんなりいかず、失敗しながらです。IJ電子@連絡帳の紹介は、聞くのが面倒だった。情報が洩れそうで安心できない。
- ・本市の事例発表の個人情報の出し方に少し疑問を感じました。
- ・先生の話は、専門用語も多くわかりづらかった。参考写真が小さく見づらい。